

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学医療人育成・支援センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における授業情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 2月

福島県立医科大学医療人育成・支援センター 諸井陽子

研究課題名

医学生自身が考えたシナリオを演じることによって得られる学習深度に関する研究

研究期間

2023年2月 ~ 2027年12月

研究の目的・意義

本研究では、授業で実施されたワークシートやアンケート結果より、医学生自身が考案したアンプロフェッショナルな行為に関するシナリオを演じることによって得られる学びを明らかにするとともに、教育プログラムの効果を検証することを目的とします。

これまで研究されてきた医学生や医療専門職が起こしたアンプロフェッショナルな行動や、それらの問題行為への対処に関する研究ではなく、どういう認識を持つ学生がアンプロフェッショナルな行動を起こしやすいか？という点に着目し、学習者である医学生がアンプロフェッショナルな行動を役柄として演じることによって疑似的に体験し、問題を起こしうる行動や気持ちの変化に気付き、内省を促す教育方略を取り入れた教育プログラムを実施しました。この教育プログラムの効果を検証することによって、医療倫理教育において問題行動を改善しうる新しい教育方略を提唱することができ、より倫理観の高い医師の育成が期待できます。

研究対象となる方

2022年度～2026年度福島県立医科大学医学部入学生 650名が対象です。

研究の方法

医療プロフェッショナリズム教育が含まれる授業（早期ポリクリニック、地域実習Ⅰ）の授業ワークシートおよび匿名で実施された授業後アンケートの記載内容について因子分析を実施します。

研究組織

研究責任者

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター 助手 諸井陽子

研究分担者

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター

- ・センター長、主任教授 大谷晃司
- ・医学教育部門長、教授 色摩（亀岡）弥生
- ・助教 青木俊太郎
- ・助教 中村光輝
- ・助手 安田恵

この研究において集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、医療人育成・支援センターで利用し解析を行います。

この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
公立大学法人福島県立医科大学 医療人育成・支援センター
担当：諸井陽子
電話：024-547-1714 FAX：024-547-1727
e-mail：ymoro@fmu.ac.jp